

落慶式

先月十二日、念願の落慶式が厳修されました。当山住職の楠美知仁増上寺執事長お導師のもと、古橋執事、蓮池執事、石田執事、大澤執事、田中執事、前田執事をはじめ、施設管理課、法要課、総務課、教務課、内侍、安国殿等の大本山増上寺各部署からの僧侶総勢約二十名が総力を尽くして、お練り行列から奉告法要まで無事お勤めさせていただきました。

また、浄土宗茨城教区教区長小笠原純生上人をはじめ、同教区議長飯沼上人、同教化団長下村上人、絹組組長中寫上人、坂東市高声寺様、取手弘経寺様、結城弘経寺様、浦安大蓮寺様、絹組内、水海道部内の御寺院方の御随喜を賜り、華やかで荘厳な法会となりました。

新本堂を設計された社寺建築研究所様、建設を担当された金剛組様、羽馬組様をはじめ改修工事に携わっていただいた業者の方々、また、弘経寺有縁の信者様、弘経寺本堂建設委員、そして、お檀家の皆様にもご臨席を賜りました。本当にありがとうございました。

思い返せば、本堂改修工事起工までの準備の約一年と起工から落慶までの一年七カ月を合わせますと、本堂改修事業が発足してから、もうすぐ三年が経とうとしています。この間、弘経寺有縁の御寺院方、設計士や工事担当業者の方々、有形無形の御寄進をくださいました檀信徒の方々はもちろん、本堂改修工事を援助し支えて下さいましたすべての方々の思いが本堂改修事業に集結され、めでたく落慶のよき日を迎えることができました。

思いが形になる。この改修事業に関わってくださった方々とのこの三年間を思い返していましたら、こんな言葉を呟いていました。

思いが形になる。新本堂を眺めながら、万感の思いが込み上げてきます。

本堂が再建される今までお世話を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。そして新本堂が建立された今、皆様と共に新しい時代への一步を踏み出して参りたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

落慶祭

落慶式翌日、弘経寺の千姫まつり協賛イベントの「落慶祭」は、あいにくの肌寒い曇り空のもと幕を開けました。しかし、そんな不安をよそに、献茶式から始まり、お茶会、千姫様遺品展、弘経寺本堂写真展、学生ガイド、千姫様行列、お香教室、フルーツコンサート、雅楽・琴のコンサート、パネルシアター、百万遍数珠繰りに至るまでのすべてのセレモニー、公演、展示会はすべて黒山の人ばかり。一日を通して約二千人もの参拝客が、弘経寺新本堂落慶を記念して開催された「落慶祭」に足を運んでくださいました。

新本堂と共に新たな歴史を刻んでゆく弘経寺の第一歩となる記念すべき行事にこんなに

もたくさんの方々にいらしていただき、これ以上ないお励ましをいただいたような心地です。本当に有り難く心強く、ご来会くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

皆様の温かなお力添えがあってこそこの弘経寺です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

開山忌

恒例の開山忌を左記のとおり奉修いたします。新本堂では最初の開山忌となります。是非ご参列くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

六月一日（日）

午後一時四五分 お練り（「開山上人像」を御輿に乗せて開山堂から本堂まで）

午後二時〇〇分 開山忌法要

法要終了後、散餅・散銭

※雨天の場合、お練りは中止

亀水舎

本堂に向かって右側に亀のつくばいをご存知でしょうか。石でできた大きな亀の彫り物です。その亀を覆っていた小屋は老朽化のため、屋根は錆び、柱は腐っていました。

新本堂建設に伴い、その小屋をどのようにしようかと世話人会で討議していましたところ、当山お檀家の建築会社・古谷住建（代表・古谷健様、一級建築士・古谷章様）が御寄進くださると申し出て下さり、落慶の日にはその完成を沢山の参拝者にお祝いしていただきました。古谷住建様に心より感謝申し上げます。

この亀の小屋（亀水舎）は新本堂落成と時期をほぼ同じくして建立され、弘経寺の新しい名所となりました。当山ご参拝の折には是非ご覧いただきたく存じます。